

## 第3学年 技術・家庭科（家庭分野）

### 【教科のねらい】

- 消費のあり方を考え、消費者としての自覚を持ち、自分の生活に生かす実践力を育てる。
- 環境に配慮した消費生活を考え、行動できる。
- 住まいの役割を考え、健康的な住まいについて理解し、自分の住まい方を見直そうとする。
- 家族のコミュニケーションやプライバシー等の家族関係を考えた住まい方を追求する能力を養う。

### ☆学習を進めるにあたって

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書  新しい技術・家庭 [家庭分野]（東京書籍）</li> <li>○ 副教材  技術・家庭総合ノート[家庭分野]（東京書籍）</li> <li>○ 教材    環境を考えた小物作り</li> </ul>	持ち物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・ファイル</li> <li>・筆記用具</li> <li>・裁縫道具</li> </ul>
学習の進め方	<p>《学習をしっかりとするには》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 何事にも興味を持って取り組む。</li> <li>○ 忘れ物をしない。提出物は期限を守ってきちんと出す。</li> <li>○ 実習時は、友だちと協力して助け合いながらすすめる。</li> <li>○ 技能は、地道に努力すること。</li> </ul> <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 宿題は、丁寧に行う。必ずやって、提出する。</li> <li>○ 消費者として自覚し、買い物に行くときには考えて行動する。</li> <li>○ 住生活に関して興味を持ち、健康で快適に住むために手伝いを進んでする。また、防災についても真剣に考え、安全に生活できるよう見直す。</li> <li>○ 学習したことを家で更に調べたり、実践する。</li> </ul> <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3組は1学期末、1・2組は2学期末に「家庭」50分間のテストを行う。卒業テストは全クラス「技術」と合わせて50分間のテストを行う。</li> <li>○ 教科書、ノート、配布したプリント、視聴したビデオやDVDなど授業で行ったすべての内容から出題する。また、時事問題もある。「自分の考え」をしっかりと書く。</li> <li>○ 授業中に学習したことをしっかりと復習する。</li> </ul>		
学習上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ チャイムが鳴るまでに授業の準備を終え、着席して待つ。</li> <li>○ 授業に必要な物を確実に準備すること。</li> <li>○ 授業中は、先生や友だちの話や意見を大切に聞く。</li> <li>○ 板書されたこと・気づいたことはノートに工夫してまとめておく。</li> <li>○ 実習中は、他の班員と協力し、時間の使い方を工夫する。</li> <li>○ ノート、プリントなどの提出期限は守る。</li> <li>○ 「どうすれば効率がいいか」など常に工夫しながら、あきらめることなく前向きに取り組む。</li> <li>○ すぐに人に聞くのではなく、自分でよく考える。</li> </ul>		

☆学習内容および評価について

学 習 計 画				評価にあたって		
学期	月	単 元 計 画	試験	評価観点	評価の場面・方法	
1 ・ 2	4	<b>わたしたちの消費生活と環境</b> 消費者としての自覚を持つ 商品の選択と購入について 消費者の権利と責任	1 学 期 期 末 テ ス ト  ・ 2 学 期 期 末 テ ス ト	関 心  ・ 意 欲  ・ 態 度	・住生活の自立に対する 興味や関心をもって、意 欲的に授業に取り組もう としている。 ・消費者が巻き込まれる トラブルとその対処法を 積極的に調べようとし る。 ・安全に気をつけて実習 をしようとしている。 ・学習した内容を自分の 生活に取り入れようとし ている。	チャイム着席 準備物 発表意欲 行動観察 実習の取り組み 提出物 ワークやノートの内容
	5	消費者トラブルの解決法 よりよい消費生活を目指して 生活と環境のかかわり				
	6	住まいの役割 家族と住まいのかかわり				
	7	安全に住むために 防災について考える		工 夫  ・ 創 造	・賢い消費者として、商 品を購入することを工夫 できる。 ・家族構成やライフステ ージに求められる住まい の条件を考え、住まい方 を工夫できる。 ・家庭内の事故を予防し、 安全に住まう方法を工夫 できる。	実習の取り組み 発表内容 ワークやノートの内容 作品の評価
3	1	健康で快適な室内空間	卒 業 テ ス ト	技 能	・悪質商法を分類し、ク ーリングオフの書類を書 くことができる。 ・家の間取りを正確に書 くことができる。 ・家庭内の事故の安全対 策を図で表すことができ る。	実習の取り組み ワークやノートの内容 作品の評価
	2	生活を豊かにするための工夫をしよう				
	3	よりよい住生活をめざして				
		1・2学期で授業の入替えを 行う。  1学期 3年3組 2学期 3年1・2組 3学期 隔週で授業を行う。		知 識  ・ 理 解	・販売方法や悪質商法、 トラブル解消法や消費者 契約、権利について理解 する。 ・住まいのはたらきと機 能を理解できる。 ・住まいのルールやマナ ーを工夫することで、家 族の関わりを深める快適 なものになることを理解 する。	定期テスト 小テスト ワークやノートの内容